

滋賀県立大学 SDGs 連続講座 開催報告書

日時： 第1回 2019年12月15日(日曜日) 13:30~16:30
第2回 2020年1月26日(日曜日) 13:00~16:00
第3回 2020年3月1日(日曜日) 13:00~15:00

場所： 滋賀県立大学

受講者： 14名(社会人9名、学生5名)

講師： 宇留野 元徳 氏

ゲスト： 高野 翔 氏(国際協力機構(JICA)職員) … 第1回のみ

実施内容

【第1回】… 参加者11名

今回の連続講座はSDGsの知識を教える座学ではなく、受講者がそれぞれのSDGsに関連する活動や持続可能な社会実現に向けての思いを相互にインタビューで語り、聞き、記事を作成する体験型の企画としました。幅広い年代層、多様な経験や専門性をもつ社会人、学生が参加し、新しいつながりが生まれそうな予感と期待が高まる中、1回目の講座がスタートしました。

まず、初回特別ゲストのJICA職員 高野翔さんから、市民ライターが地元の魅力的な人を訪ね、取材して制作された書籍「Community Travel Guide 福井人」についてお話いただきました。それぞれのライターが、自分にとっての「ローカルヒーロー」を探して対話し、表現する作業を通じて、出会った人との関係が深まっていったそうです。またでき上がった本が地元の書店に並び、それを手に取り、記事に共感した人が地域のネットワークに加わる、というように多くの人が取組に参画することとなり、高野さん自身もこの本を作ったことで、当初想像していた以上に多くの貴重な縁が得られたことを実感されていました。SDGsをテーマにした滋賀の魅力的な人を紹介する本ができれば、今後の滋賀にとってかけがえのないつながりができるはずと、応援の言葉をいただきました。



次に本学の卒業生で、長浜市でデザイナーとして活躍されている宇留野元徳さんにインタビュー取材の仕方についての講義をお願いしました。時間の流れを意識し、「今やっていること」「そこに至るまでの経緯」「この先実現したい夢」「そのために今何をしようと思っているか」を聞いていく。先入観にとらわれず、真摯な態度でしっかり話を聞く。その人の発した話し言葉やネガティブな話も上手く記事に取り入れると読者の興味をひくアクセントになる。など、取材や執筆のコツを教えていただきました。

その後は、自分自身のことを振り返る作業を行いました。自分の思いや活動について自己インタビューしたメモを作成し、それに基づいて自己紹介しました。この時間は、お互いの人柄や活動を知る機会となり、初対面の受講者間の距離も縮まったようでした。



【第2回】… 参加者 13名

1回目終了後、新たな申込みで受講者が3名増え、更に賑やかになりました。今回はいよいよ受講者がお互いにインタビューをする日です。講師の宇留野さんから改めて取材やインタビュー中の写真撮影のポイントを教えてもらいました。

その後、3人ずつのグループに分かれて、インタビューの聞き手、話し手、写真撮影の係と役割を交代しながら、インタビューを繰り返しました。みなさん、リラックスした表情で、また時には真剣に対話する姿が印象的でした。講座終了後も会場に残り、話し続ける人たちも見られました。今回の連続講座の主な目標は記事を作成することですが、もう一つの目標はこのような対話を通じて人とつながることの実践です。小さなことですが、これが大きなネットワークを作る基本単位になります。この積み重ねが大切だと感じました。



【第3回】… 参加者 10名

SDGs 連続講座もいよいよ最終回となりました。受講者には前回のインタビューで作成したメモを元に、記事を書いて事前に提出してもらいました。それを写真とともに一般社団法人 Think the Earth の協力で提供いただいた「SDGs アクションブック」のフォーマットに貼り付け、記事の体裁に整えました。

受講者がそれぞれ自分の作成した記事を紹介し、取材や執筆で工夫したこと、表現に苦労したところ、全体の出来映えなどの感想を話してもらいました。取材を受けた側の受講者からもコメントをもらい、全体で批評を行いました。取材の焦点を「人」にするか「ものごと」にするかで記事の内容も大きく変わります。活動の説明が中心になってしまい、もっと人の思いを取り上げればよかったという感想もありました。取材された側からも、とても上手く自分の思いを表現してもらえたという人がいる一方、自分が重要視しているのとは違う箇所が取り上げられていたという人も。そこからインタビューの受け方にも工夫があることに気づき、今後はしっかり人に伝わるように自分のことも改めて整理しておこうと感じた方もいたようです。

今回は講座受講者同士でインタビューをしました。来年度はぜひ皆さんが「滋賀の SDGs ローカルヒーロー」だと思える人取材しに外に出かけたいと思います。その活動の中で、滋賀県内に SDGs ネットワークを構築し、持続可能な社会の基盤をつくる大きな目標に向かって、今後も一緒に取り組んでいきましょう。皆さんお疲れさまでした。

